

選挙管理委員及び補充員の選挙

平成23年12月23日に任期満了となる、豊頃町選挙管理委員と同補充員の選挙を氏名推薦により行い、次の方が当選されました。
なお、任期は平成27年12月22日までです。

▼選挙管理委員

- 片岡 富雄氏 (再) 豊頃旭町
- 小野寺真太郎氏 (再) 礼作別
- 青田 悦夫氏 (再) 二宮
- 川村 和也氏 (再) 大津元町

▼選挙管理委員補充員

- 鳥宮 慶法氏 (再) 茂岩本町
- 神谷 秀秋氏 (再) 北栄
- 前田 マリ子氏 (再) 豊頃旭町
- 前田 精一氏 (再) 二宮

人権擁護委員

9月定例会に諮問され、議会において推薦を決定した人権擁護委員に内山 寛氏 (中央新町)、鳥宮慶法氏 (茂岩本町) が就任することになりました。任期は、平成24年1月1日から平成26年12月31日です。

条例改正等

▼豊頃町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

平成23年度の人事院勧告に基づき、本町においても改定を行うもので、職員給与表を平均0・23%引き下げます。

▼豊頃町税条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令等が公布されたことに伴い改正する。

るもので、過料を現行3万円から10万円に引き上げ、寄付金税額控除の適用下限額を現行5千円から2千円に引き下げ、肉用牛売却による農業所得に係る免税措置について、免税対象牛の売却頭数要件の上限を現行年間2千頭から年間1千500頭に、免税対象牛の対象範囲から売却価格80万円以上 (現行100万円以上) の交雑種を除外する。

※過料とは
条例に違反したときに課せられる反則金

意見書

- ▶平成24年度農業予算編成及び税制改正に関する意見書
- ▶森林・林業・木材産業政策に関する意見書
- ▶TPP協定交渉参加に向けた関係国との協議開始に関する意見書

いずれも原案のとおり可決され、関係省庁に提出されました。

豊頃中学校生徒が議会傍聴

豊頃中学校3年生33名が、12月15日開催された第4回定例会を傍聴しました。



豊中3年生議会を傍聴

この傍聴は、社会科公民の授業の一環として行われたもので、津波防災対策や、TPPに関する一般質問が行われ、生徒たちは、議員と理事者のやりとりを熱心にメモをとりながら、真剣に聞き入っていました。30分間の傍聴後、議場を退席する際には、議場に一礼をする生徒も多く、傍聴のマナーがきちんと守られていました。

一般質問

中学校の武道の必修をどう取り組むのか

大谷 友則議員

Q 24年度から中学校で武道が必修となるが、その目的は？

A 菅原教育長
礼を重んじ、相手を尊重するなど、我が国の文化や伝統により、豊かな人間形成を目的にしている。

Q どのような武道に取り組むのか？

A 菅原教育長
また、その準備は？
剣道を導入予定。用具については、本年度で30組を町で用意する。

Q 指導体制は？

A 菅原教育長
現在、教職員の研修が実施されている。また、町内の指導者にも協力

していただく。



第42回豊頃町少年剣道大会

大津地区の津波防災対策は

杉野 好行議員

Q 高台の無い大津地区で安全な避難をどう考えるか？

A 宮口町長
ソフト面では、ハザードマップの作成。ハード面では築山等の避難場所と避難路の整備を、国・道の協力を得ながら進めている。

Q 初めての住民説明会の参加の状況は？

A 宮口町長
関係団体長への周知だったため、

一般住民の参加がなく、今後の説明会には多くの住民が参加できるように工夫と検討をしていく。

Q ハザードマップの内容は？

A 宮口町長
地震・津波が発生したとき、どのような災害状況になるか現況の地図上に示すもので、今年中に完成予定。年明けに、議会・地域住民に内容を説明する予定。



大津地区に整備中の築山

Q 今後、津波に対する防災対策をどのように進めていくのか？

A 宮口町長
津波などの緊急時に迅速な避難が出来るよう、地域の方と話し合いな

TPP参加による本町への影響は

藤田 博規議員

Q TPPに参加した場合、本町への影響は？

A 宮口町長
本町の農業は壊滅的な状況になることが予測される。

Q 農産物以外にどのような影響が考えられるか？

A 宮口町長
農産物の運送、加工など、大きな影響があると思うが、町レベルでは、試算が困難。

Q 生産者が安心して暮らせる環境が必要。今後の産業振興策は？

A 宮口町長
自治体での対策は不可能。関係団体と連携を取りながら、粘り強く対応していく。一次産業が中心の本町としては、これらの産業が発展する様、振興策を関係団体と協議していく。